

おぞの

尼崎市立小園小学校 学校だより

令和4年1月11日

No.10



明けましておめでとうございます

平素は本校教育活動にご理解とご協力を賜り
誠にありがとうございます
本年もどうぞよろしく願いたします

校長 平野 真紀

2022年が始まりました。今年は「寅年」です。「寅」という文字には「まっすぐに伸ばす、引張る」という意味があるそうです。中国の『漢書』では、「寅」は草木が伸び始める状態を表すと解釈されています。十二支で言えば、新しい命が種の中で芽生え始めるのが「子(ね)年」、種の中で育つけれどまだ伸びることができないのが「丑(うし)年」、春が来て根や茎が生じて成長する時期、草木が伸び始めるのが「寅年」だとされています。加えて、今年は「五黄の寅」という、36年に1度の周期で巡ってくる強力な運気をもつ年なんだそうです。この2年、コロナに苦しめられ翻弄されてきた私たちの世界に、どうかいいことがありますようにと願います。

先日、買い物に行った近所のスーパーで、お母さんと娘さん2人という親子連れを見かけました。上の子は小学1年生くらい、下の子は幼稚園くらいでしょうか。2人とも元気いっぱい、母親が押すカートから離れたり、母親に叱られてまた戻ったりを繰り返していました。それ程遠くに行ったり他の人に迷惑をかけたりはしていなかったのですが、その時の母親の怒鳴る声、言葉遣いに驚かされてしまいました。「お前らな～、ええ加減にしろや！」とか「何回も言うとするやろが、ぼけ！」とか…。大声で口汚くわが子を罵っていました。家でならまだしも、公共の場でそれはないだろうと思いましたが、当の娘さんたちは、そんなふうに怒鳴られ慣れているのか、全然平気な顔。平気だからまた同じことをしては怒鳴られていました。嘆かわしいのか、天晴なのか、よく分からなくなりました。

言葉には「言霊(ことたま)」が宿ると言われます。発した言葉通りの結果を現す不思議な力のことです。本当かどうかは分かりませんが、私は不安なときや迷ったときは、自分自身に対してよく「大丈夫！」と言います。すると案外大丈夫なことが多いのです。私が小さかった頃、祖母は私に会う度に私の頭を何度も撫でながら「賢くなれ、賢くなれ」と唱えていました。(高校生になっても続きました。)賢くなったかどうかは定かではありませんが、あれは祖母が私に言霊パワーを送っていたのかも知れません。前にお話ししたと思いますが、私は小学校の頃、少女バレーをしていて、鬼のように厳しい先生から「何しとんじゃ！どあほ！どんくさいの～！」とよく怒鳴られました。「自分はどんくさい人間なんだ」と、卑屈のどん底に落ちそうになりました。

良くも悪くも、言葉は人に影響を与えます。「ばか」「うざい」「死ね」等の悪口や中傷は、時として相手の心を壊してしまいます。これが口から発せられたものなら、すぐに消えてしまうのでまだましなのですが、今本校でも心を痛めているのが、SNSへの書き込みです。それが原因のトラブルが頻発しています。高学年に限った問題ではありません。そこで、保護者の皆様にはお願いです。お子さんにオンラインゲーム、LINE、TikTok、Twitter、Instagram、Facebook等を使わせるなら、どんなやり取りをしているか、必ず中身をチェックしてほしいのです。そうすることで抑止にもなるし、事が大きくなる前にブレーキをかけることもできます。「うちは信用しているから大丈夫」と思われるかも知れませんが、お子さんが被害者、あるいは加害者になることだってあります。できれば毎日、せめて週に1回は、お子さんのネット使用中の中身をチェックしてあげてください。

3学期は1年間のまとめと次の学年への準備をする大切な学期です。特に6年生にとっては、中学校へ進学する準備の期間でもあります。学習に運動に、そして友だちや先生との絆づくりに、充実した毎日を送ってほしいと願っています。教職員一同、子どもたちの進級・卒業に向け、心をひとつに取り組みんでいく所存ですので、引き続き、皆様のご理解、ご協力をよろしく願いたします。



